

MAINTENANCE & SAFETY

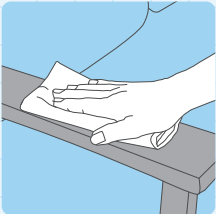
お客様に知っていただきたい、家具と上手に付き合う方法

Q1

お手入れの方法や
タイミングは？

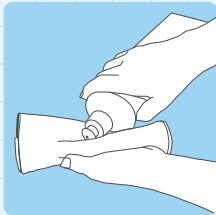
◎椅子の場合 木部

木部は柔らかい布でこまめにからぶきして下さい。綿ネルが最適です。毎日丹念にからぶきを続けていると、自然なつやが出てきます。汚れがひどくなった場合には、家具クリーナーまたは中性洗剤で汚れを取り、その後乾いた布で十分にふきあげます。天然木は直射日光や湿気に弱いので、日の差し込む所や湿気の多い所に置かないで下さい。



合成皮革張り

日ごろのお手入れはから拭きだけで充分ですが、シミやひどい汚れのときには中性洗剤を使って水拭きし、その後乾いた布で十分に拭きあげます。アルカリ性の強い洗剤は色あせすることがありますので、使用しないで下さい。また、過度な水拭きや科学雑巾の使用はお避け下さい。刃物などで傷をつけるとそこから徐々に広がって、大きなキズになることがありますのでご注意ください。



◎シェルフやTVボードの場合

食べ物などのにおいが付いた時には中のものを全部出して、熱いお湯で固く絞った布でふきあげます。そのあと、風を通して十分に乾燥させて下さい。においが特に気になるときには、茶ガラを乾燥させたものを小皿に入れて棚の各すみに置いておくとも良いでしょう。

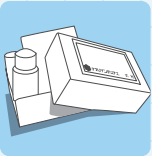


◎塗装や仕上げによってもお手入れの方法は異なります。

オイルフィニッシュ

オイルフィニッシュの商品は長い間の御使用や、濡れ雑巾を頻繁に使用されると、塗膜が薄くなってきます。また、熱いやかんをじかに置くと輪じみになる場合がありますので注意して下さい。表面の塗膜が薄れたり、万が一輪じみが出来たときはメンテナンスが必要です。「メンテナンスキット」は弊社で販売しています。

ON用	RA036-1Z (ON) ¥4,000 (消費税別)
WN-OM用	RA036-1Z (WN-OM) ¥4,000 (消費税別)



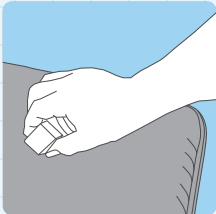
※オイルフィニッシュのメンテナンスキットによるメンテナンス方法はキットに添付していますので、方法をよく読まれてご使用ください。

UV 塗装

溶剤に強く、擦り傷やホコリがつきにくいので、日ごろのお手入れはからぶきで充分です。また、手あか、水性の汚れのときは乾拭きや、水を含ませ固く絞った布で拭き取り、油性の汚れについては、ベンジンを含ませた布で素早く拭き取ります。

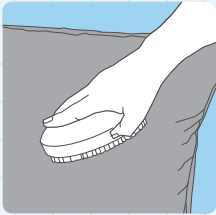
本皮革張り

水分を嫌いますので乾いた柔らかい布、たとえば綿ネルなどでこまめにからぶきをしてほこりをはらって下さい。本皮革は磨けば磨くほど美しい輝きを増します。時に皮革油を薄く塗って、からぶきして下さい。グリセリンでも同じ効果があります。細く切った束ねたウールで磨き上げると、細い繊維が皮革のシワの中のほこりまで取って美しいつやが出ます。市販のレザークリーナーをご使用になっても同じ効果があります。部分的な汚れはハンを消しゴム状に丸めて、汚れを包み込むようにもみ取って下さい。直射日光にさらされたり、湿気の多い所に置いたりしますと、ひび割れや変色の原因になりますのでご注意ください。



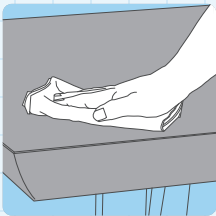
布張り

ほこりが付きやすいので、羽根ばたきや毛の柔らかいナイロンブラシなどでこまめにはらって下さい。週に一度は掃除機を使ってすみずみのほこりまで吸い取って下さい。背もたれや肘掛けの手あかや油汚れはベンジンで拭き取ります。目立つしみはブラシで部分洗いをするとよいでしょう。手早くすませるのがコツです。また、カバーリングの商品に関しては、ウォッシュابل対応であれば水洗い、ドライクリーニング対応であれば、ドライクリーニングが出来ます。



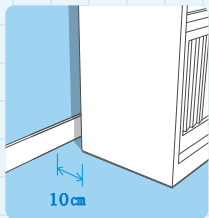
◎テーブルの場合

普段は乾いた柔らかい布でからぶきして下さい。油污れが付いたときは、ぬるま湯に中性洗剤を500倍に薄めたものに、タオルを浸し、固く絞って塗装面を拭きます。あとは綺麗なぬるま湯に浸して固く絞ったタオルで洗剤を拭きとって乾拭きします。また、天板の上に長期間水分や醸造液がのっていると、その下の部分が白くなってしまうことがありますので、気をつけて下さい。



Q2

どんな場所に
置いても大丈夫？



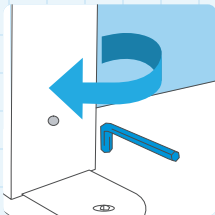
Q3

ガタツキが
気になる…

A3

使っていれば自然とゆるんできくるもの。
定期的に締め直してお使い下さい。

- 丁番や脚取付金具、キャスターなどの固定用のネジ類がゆるんでないか時々点検し、ゆるみはじめてらしっかり締め直して下さい。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、家具の移動をした時も、点検し、ゆるんでいたら締め直して下さい。



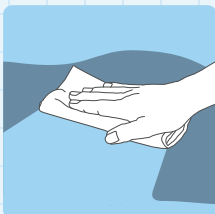
Q5

食べこぼしは
水拭きしても良い？

A5

無垢材でも防水加工しているものは
少々の水拭きなら問題ありません。

- 防水効果のある塗装(ウレタン塗装やオイル塗装など)を施した家具は、少々であれば水拭きしても大丈夫です。固く絞ったふきんでサッと拭き取りましょう。
- 濡れふきんなどを直に置き放しにしたりするのは避けてください。



A2

長くお使いいただくために、高温多湿の部屋や直射日光や熱・冷暖房の強風が当たる場所は避けてください。

- 高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり(10cmくらいが望ましい)、部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱・冷暖房機の強風などが直接当たらないようにして下さい。家具がゆがんだりする原因となる事があります。
- 家具は水平を保つように置いてください。ガタツキのまま使っていると、扉の開閉や引き出しの出し入れがスムーズでなかったり、椅子の強度を損なう等、家具がこわれたり、ケガをする原因となる事があります。

※虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や、防虫処理をして下さい。他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

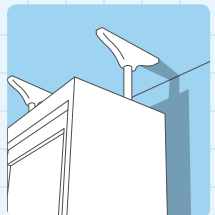
Q4

地震が来ても
大丈夫…？

A4

壁、床、天井
周囲にしっかり固定を！

- 地震などで家具が倒れ、ケガをすることがあるので、建物の壁、床、天井等に固定用金物や固定部材でしっかり固定して下さい。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをすることがあります。置き方にご注意下さい。



Q6

張り地が破れたり
クッションがへたってきたら…？

A6

自社製品のリフォームを承ります。
詳しくはp.242をごらんください。

- 大切に扱っていても、上張り材(張地・ウレタン・バネ等)は、毎日使っているうちに少しずつ消耗していきます。そうした椅子も、張り替えにより新品と同様の美しさと座り心地を取り戻すことができます。お気軽にお問い合わせください。

